

株式会社 Sun so

※2017年3月現在

代表者名	尾池 章良	資本金	2百万円
設立年	2012年5月1日	売上高	41百万円 (2015年12月1日 期)
事業内容	生産（青ネギ、米）	経営規模	田6ha
従事者数	14人（うち女性12人。女性内訳：役員1人、常勤パート11人）		
女性活躍支援	[女性に配慮した取組み、実績のある制度・支援] 育児休業後の継続就業支援 [女性に配慮して取組んだ環境整備] 施設設備関係（休憩室・屋内トイレの設置）、重労働等の業務改善		



経営概況

(株) Sun soは、香川県観音寺市で青ネギを生産する法人である。経営主である尾池章良氏の両親が農家であったことをきっかけに、2000年に創業した。2007年には妻の尾池美和氏も仕事に従事するようになった。2012年に法人化しており、その際に女性の経営参画の必要性を感じたことから、尾池章良氏とともに美和氏も役員に就任している。従業員数は、創業時の4名から14名に増加し、うち12名が女性である。

現在の経営規模は田6haであり、年間生産量は青ネギ170t、米7tである。青ネギは1年に2～3回収穫を行っている。年間生産量300tに向け



て育苗施設や作業施設への投資を積極的に行っている。

1. 家庭と仕事の両立を支援する経営者の考え

創業時より、男女ともに能力を十分に発揮して、みんなが楽しくいきいきと仕事ができる会社を目指してきた。美和氏は前職の会社において、子供の看病等で仕事を休むことが多く、その際に心ない言葉を言われた経験から、子育てと仕事を両立できるような職場づくりを目指している。

また、美和氏は外部研修に積極的に参加しており、農業経営者としての能力をさらに高めようと意欲的である。そのような活動ができる背景には章良氏の応援と協力がある。役員の章良氏と美和氏自身も、家庭と仕事の両立ができるようにお互いに協力しあっている。

2. 女性の活躍とキャリアアップを推進する取組み

生産部門は3つの圃場チームに分かれており、

女性が班長として活躍している。班長は月1回の班長会に出席し、情報を共有しあっている。女性のみで圃場作業をしている姿は地域では珍しく、先進的なモデルとなっている。

現在、農作業42工程のうち37工程は女性従業員が行っている。残りの5工程はトラクター作業などであり、女性従業員が機械操作に不安があるとして行っていないが、今後は女性でも扱いやすい小型のトラクターを導入するなどして、全ての工程を女性従業員ができるように工夫したいと考えている。

2016年から人事評価を導入しており、各自の成果を給与に反映することで従業員のモチベーションアップに努めている。年末には面談を行い、各自の課題を明らかにするとともに、各従業員のライフスタイルにあった働き方となるように考慮している。

パートの場合では各自のライフスタイルに応じて退勤時間を12時、15時、17時から選べるようになっている。

そして女性のキャリアアップとして、パートから正社員への登用、女性幹部の育成に意欲的に行っている。また、独立を目指す女性従業員がいたことを受けて、独立プログラムを作成し支援を行っている。このように多様なキャリア形成の支援が行われている。

3. 土日祝休み、社会保険完備の働きやすい職場

「業務内容よりも労働条件に魅力を感じてSun soを選んだ」と答える従業員も多いほど、従業員が働きやすい環境が整っている。社会保険完備はもちろんのこと、パートは土日祝休み、正社員は曜日交代制の週休2日となっている。そしてパート、正社員ともに有給休暇取得率100%となっている。

このように、休日や有給休暇が十分に取得できることで、離職する従業員を減らすことにつながっている。また、就業規則、育児介護休業規則が定められており、それらを記した冊子は従業員がいつでも確認できる場所に置かれている。

4. きれいで作業しやすい職場

農業は「3k労働」と呼ばれることがあるが、Sun soの職場は清潔感があり作業しやすい環境となっている。休憩室、男女別のロッカー室とトイレは清潔に保たれており、作業はできるだけ重労働を削減できるように工夫されている。

重労働削減の工夫としては、機械定植の導入、コンテナ運搬用のキャリーの導入、コンベアから予冷庫までのレールの設置などが挙げられる。このような工夫により、コンテナの移動時間は1日当たり65分短縮されている。

今後はハンドアップリフトを導入するなどしてさらに作業しやすくしていきたいとしている。

審査委員の声

とかく3Kになりがちな農業分野にあって、女性が楽に作業を進めることができるよう、各種機械の導入を積極的に行っているほか、清潔な休憩室やトイレの設置などにも設備投資を惜しんでいないところが評価できる。

就業規則の整備、週休2日制の導入といった制度面だけではなく、有給休暇の取得率が100%となるなど、実際の運用面でも働きやすい職場を実現しているところがすばらしい。

こうした取り組みが、他産業の求人も多い地域において、低い離職率を維持していることに繋がっているといつてよいだろう。